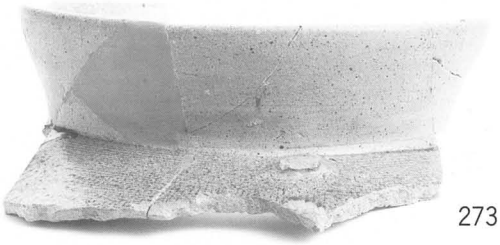


273

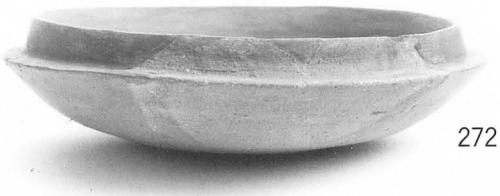
107

290

37

334

108



272

写真46　日暮・松林遺跡出土遺物④

報告書抄録

ふりがな	ひぐらし・まつばやしいせき(さいせいかいとくようほーむ)
書名	日暮・松林遺跡(済生会特養ホーム)
副書名	特別養護老人ホーム(なでしこ香川)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第1冊
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第86集
編著者名	大嶋　和則
編集機関	高松市教育委員会
所在地	〒760－8571　香川県高松市番町一丁目8番15号　TEL087－839－2636
発行年月日	西暦2005年8月31日

ふりがな 所収遺跡名	しょざいち 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
ひぐらし・まつばやしいせき 日暮・松林遺跡	かがわけん 香川県 たかまつし 高松市 たひかみまち 多肥上町	37201		34° 17′ 25″	134° 03′ 35″	2004.6.23 ～ 2004.8.27	1,600m²	特別養護老人ホーム建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
日暮・松林遺跡	集落	弥生	掘立柱建物 土坑	弥生土器，石器，木器	
		古墳	溝	須恵器，土師器，木樋	
		中世	溝 土坑	土師器，瓦器	
		近世	溝 土坑	陶磁器	

要約	日暮・松林遺跡は高松平野の中央部に所在する弥生時代の集落遺跡である。今回の調査では，弥生時代中期から近世までの遺構・遺物を検出した。特に古墳時代後期のSD1は幅4m，深さ1.5mの規模で，多量の遺物が出土した。出土遺物中には長さ3.2mを測る木樋も見られた。なお，SD1はこれまでの周辺の都市計画道路調査地SR02及び病院調査地SD1等とつながる溝であることが予想される。またSD1に並行して中世まで多数の溝が掘削されていることがうかがえた。

特別養護老人ホーム(なでしこ香川)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

日暮・松林遺跡（済生会特養ホーム）

平成17年８月31日　発行

編　　集　　高松市教育委員会
高松市番町一丁目８番15号

発　　行　　高松市教育委員会
社会福祉法人恩賜財団済生会支部香川県済生会

印　　刷　　株式会社 中央印刷所